

星野富弘

川越 萱沼かいぬま

花の詩画作品展

今日も一つ
悲しいことがあった
今日もまた一つ
うれしいことがあった
うねうねした日
あつたり しいたり
あまらぬたり
にくんだり 愛したり
そして これらの一つ一つを
柔らかに包んでくれた
お父さん ありがとう
平風なことがあった



「特定非営利活動法人 福音の園・埼玉」

開設二十一周年記念

第一事業所と第二事業所「寄ってケア室」に

詩画作品を展示しています。



1946年、群馬県勢多郡東村（現みどり市東町）に生まれる。群馬大学教育学部卒業後、中学校の体育教諭になるが、クラブ活動（器械体操）の指導中、模範演技で空中回転したとき誤って頭部から転落。頸髄を損傷。首から下の自由を失う。入院中、口に筆をくわえて文や絵をかきはじめる。退院後、雑誌や新聞に詩画作品やエッセイの連載を始める。1982年、高崎で初の「花の詩画展」を開催以降、全国各地、また海外でも開催され、現在も続いている。1991年、群馬県勢多郡東村（現みどり市東町）に富弘美術館開館。著書多数。2006年、群馬県名誉県民。2011年、群馬大学特別荣誉賞。2024年4月28日、逝去。

福音の園・川越
寄ってケア室

川越市萱沼 2692 番地 1

Tel.049-293-7528